No.151

2021 4

學院だより

常磐祭 第1部 体育祭 高校3年生による「荒城の月」(東京武道館)

目 次

○ 東京家政学院大学 …… 1～5P

○ 東京家政学院高等学校・中学校 ‥ 6～8P

○ 学校法人東京家政学院 …… 9～10P

○ 社会のなかで、研究室紹介…… 11P

発行 学校法人東京家政学院

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

Tel. 03-3262-2251(代表) Fax. 03-3262-2271

URL https://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

東京家政学院大学

TOKYO　KASEIGAKUIN　UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地
TEL.042-782-9811（代表）

千代田三番町キャンパス
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
TEL.03-3262-2257（代表）

URL https://www.kasei-gakuin.ac.jp/

新学長の就任の挨拶

学長　鷹野　景子

2月のある日、私は京王線の特急電車で東京家政学院大学町田キャンパスに向かいました。爽やかな晴天で、明るい窓の外を眺めていました。やがて川を通り過ぎました。多摩川です。広々とした川の様子が心地よく、太陽の光が当たって、眩しさも感じるぐらい輝いて見えました。思わず深呼吸をしました。すると、ゆったりとした気持ちになりました。

町田キャンパスは、自然に囲まれた気持ちの良い場所でした。私は、大学入学時に上京するまで、静岡県浜松市で過ごしましたが、家の周りは緑に囲まれていました。幼い頃の故郷の雰囲気を思い出して、懐かしい思いが湧き上がりました。

見学の途中で立ち寄った教室で、卒業研究の仕上げに励む学生さんたちに声をかけると、快く話をしてくれました。ホテルの模型を作り、3次元ソフト等を使って研究発表するとのこと、デザインの現代的センスに感心しました。そして、卒業制作を一堂に集めたラウンジスペース（ローズコート）には、所狭しと力作が並んでいて圧巻でした。

各種施設も見せていただきました。大江スミ記念棟には和室もあり、茶道や花道もできる環境とのこと、サークルはないとのことでしたが、この施設を活用して、今後グローバル社会の一員として生きていく学院の学生たちに日本の文化に触れる機会を持たせてあげたいと思ったことでした。

思い起こせば、昨年2月から電車に乗る回数は数える程で、30分以上の乗車はほぼ1年振りでした。この1年、徒歩15分にある職場と自宅を行き来し、限られた人とのみ会って、授業も会議もほぼオンラインの生活でした。多くの方々が限定的な活動を強いられ、窮屈な思いをした1年。そんな中で、家族とのつながりや大切な人への思いを再認識したという声も多く聞かれました。今後私たちは大学において何を目指すのか、若い方々は大学に何を求めるのか、また大学・大学教育に対する社会からの期待は何か、といったことをこれまで以上に考えることになりました。

東京家政学院大学において、教職員の皆様、保護者の皆様、同窓生の皆様と共に、創立者大江スミ先生の先見的な教育理念を大切にしつつ、私たちの未来を担う若い方々の育成と学院の発展のために力を尽くして行く所存です。学院の活動に、皆様のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和2年度 奨学金授与式

令和2年11月14日（土）12時20分から、学校法人東京家政学院奨学金と光塩会奨学金の授与式が執り行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレビ会議システムによる町田・千代田三番町の両キャンパス同時開催となりました。

この学校法人東京家政学院奨学金と光塩会奨学金は、2年生以上の成績優秀者に支給されるもので、各学科からの推薦を受け教授会で授与者が決定されます。

授与式には廣江学長ほか大学役職者、光塩会からは会長・副会長が参列しました。廣江学長から学校法人東京家政学院奨学金の授与が行われ、次に冨永光塩会会長から光塩会奨学金の授与が行われました。引き続き、学長と光塩会会長から、祝福と激励のお言葉があり、授与式は終了しました。

学長、光塩会長、奨学生ほか（千代田三番町キャンパス）

奨学生（町田キャンパス）

「小口悦子先生の東京家政学院大学名誉教授称号授与を祝して」

名誉教授ご就任を心からお祝い申し上げます。

小口悦子先生は、昭和54年に本学調理学研究室実験助手ご着任から長きに亘り、本学に多大なご尽力を下さいました。本学卒業生として、本学学生の鏡であられ、ご教授下さった調理実習でのお料理の味はまさに大江スミ先生から脈々と受け継がれた本学伝統の味でございました。

ご担当教科数が非常に多かったにも関わらず、常にお優しく温かい笑顔でのご指導に、卒業研究指導学生が毎年一番多い研究室となり、そのご指導の様子に、本学卒業生として本学に教員就職いたしました私(准教授 山﨑薫)も深く感銘を受けて参りました。

学内では、地域連携・研究（町田）センター長を初代から長く務められ、本学地域連携の礎を築かれました。難しいといわれた四年制大学栄養士養成施設創設も実現され、町田キャンパスに新境地を拓かれたご功績に、心から感謝申し上げますと共に、今後も変わらず本学へご指導ご鞭撻賜りたく、願っております。

右から廣江学長、小口名誉教授、三宅現代生活学部長

生活文化博物館 第32回特別展「復興から未来へ ～博物館と地域のこれから～」報告

生活文化博物館では、第32回特別展「復興から未来へ～博物館と地域のこれから～」を令和2年11月9日（月）から令和3年2月5日（金）まで開催しました。これは岩手県の陸前高田市立博物館の収蔵資料を中心に、津波により被災し、その後修復された三陸地域の漁撈用具や高田歌舞伎の衣装類のほか、本学学生による防災対策研究も紹介した展覧会でした。

折しも新型コロナウイルスの感染拡大が重なり、見学者の密接を防ぐため、事前に来館予約をしていただきました。また、遠方の方や外出に不安を持つ方のために、石垣悟准教授（現代生活学部現代家政学科）によるギャラリートークを動画撮影し、ユーチューブ上で公開しました。動画は大学ホームページ当館サイトのリンク先をクリックしてご覧ください。

感染の終息がみえない現在、より多くの方に展示を見ていただく方法を今後も検討していきたいと考えています。

展示風景

学友会活動 クリスマス

★クリスマス・イルミネーション

・町田キャンパス

町田キャンパスでは、例年、正門とエントランスにツリーやイルミネーションを施し、学生達を出迎えています。今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大学での授業がオンライン中心となる等、通学期間も限定的ではありましたが、令和2年11月30日から12月25日までの期間で実施しました。

ツリーやイルミネーションで飾られた正門とエントランスの様子

・千代田三番町キャンパス

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、活動ができずにいた学友会ですが、11月30日（月）と12月1日（火）に恒例のクリスマスツリーの飾り付けを行いました。

学友会副委員長を中心に、ZOOMを利用したミーティングを幾度か重ね、クリスマスツリーの足りないオーナメント等を買い、飾り付けをしました。

今年度は、学生同士の交流が少なくなっていましたが、飾り付けの際、同学部の他に、他学部の先輩・後輩とも交流を持つことができ、お互いの自己紹介から授業の相談など、様々な会話が聞こえてきました。

1号館ロビーに入るとすぐにクリスマスツリーがお出迎えしてくれて、閑散としていた大学に、少しずつですが活気が戻ってきました。

ツリーの様子
(11月30日～12月25日)

★クリスマス オンライン クイズ大会

イルミネーションの他に今年は、町田・千代田三番町キャンパス合同でクリスマス オンライン クイズ大会を12月7日（月）～13日（日）で開催しました。クイズは、本学院に関する問題としました。参加者からは、『学院のことを知る機会になった』、『コロナ禍の中、楽しいイベントでした』等の感想をいただきました。クイズ大会の参加者から抽選で18名に学友会からクリスマスプレゼントを贈りました。

就職支援室からの報告

「令和2年度 学内WEB公務員説明会」の報告

令和3年1月20日（水）に町田近郊の官公署から人事担当者をお招きし、「学内WEB公務員説明会」を開催しました。

町田市役所など市役所3団体、東京都教育庁など教育委員会5団体、警視庁、防衛省の合計10団体が集まった説明会には、約60名の学生が参加し、人事担当者の話に真剣に耳を傾けペンを走らせていました。

今回は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、オンラインでの実施となりましたが、人事担当者から業務内容や公務員として勤務することの魅力、採用試験など多岐にわたり丁寧にご説明いただきました。今回の説明会を受けて、新たな発見や公務員への関心を高めた学生も多く、有意義な時間となりました。

「グループワーク体験講座」の報告

12月になると3年生向けの就活イベントが続々とはじまり、いよいよ緊張が感じられるようになってきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、対面とオンラインで選考を実施する企業が多く、両方の対策講座を講じています。

就職のためのグループワーク体験講座を、防止対策を十分に留意しながら、12月3日（木）に対面で実施しました。アクリル板越しで声の通りにくい分、アイコンタクトや積極的な発言が見受けられました。また、オンラインでは、12月17日（木）に実施しました。

体験講座の様子

ニューノーマル時代となり変化への対応が求められ、今までとは違う就活に不安を感じている学生も多いですが、就職支援室ではその不安を取り除くよう、支援をしていきます。

人間栄養学科長 原光彦教授 令和二年度社会教育功労者として表彰

人間栄養学部人間栄養学科長の原光彦教授が、令和二年度社会教育功労者―全国的な社会教育の振興に功労があった者」として、令和三年二月二十六日に文部科学省から表彰されました。

これは、多年にわたり社会教育振興に功労のあった者に対して、その功績をたたえる目的で表彰されるものです。

原教授は教務の傍、現役の小児科専門医・公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクターとして、長年スポーツ少年団の常任委員を務め、ジュニアアスリートへの食育やスポーツ指導者の養成を継続しておられました。

本学における原教授の担当科目は、管理栄養士資格必修科目である「解剖生理学・解剖生理学実習」、「応用栄養学」、選択科目である「発育期の運動と栄養」です。

今回の表彰によって、本学人間栄養学科の四つの柱の一つである、「スポーツ栄養」分野の更なる発展が期待されます。

原教授、授与された表彰状と銀杯

現代生活学部 人間福祉学科は 令和3年3月に最後の学生が卒業しました

現代生活学部人間福祉学科は2021年3月末日をもって21年間の歴史に幕を下ろしました。

卒業生が素敵なメッセージを寄せてくれました。プライバシーを保護したうえで掲載いたします。

「仕事のなかで介護と福祉に どんな風に向き合ってきたか。」

人間福祉学科1期卒業生 長谷川 雅子

「大丈夫」っていう言葉は相手に安易に使ってはいけないよ。私の恩師がおっしゃられた言葉です。学生時代にはその真意がよくわかりませんでした。

両親の影響から大学受験間際に福祉学科を受験することを決めた私は、ボランティアなどの経験もなく、入学した当時は、まわりの友人の福祉への関心の高さや熱意に少し取り残された気がしていました。そんな私が今も福祉の仕事ができている理由は、「福祉は心を支える仕事」だと教えてもらったおかげです。

卒業後、高齢者施設、急性期病院、社会福祉協議会にて仕事をしてきました。福祉も医療も支援を求める人々の暮らしは、予想以上に厳しいことが多いです。生きてはきたけど暮らしてはこなかった人。昨日まで当たり前にできていたことができなくなる絶望の淵にいる人。大切な人をなくした喪失感におそわれている人。自分の大切な人からひどく傷つけられた人。そんな過酷な現実を生きている人々を前にし、「大丈夫ですよ」という言葉の重さを知ることになりました。実際に「大丈夫」という言葉で救われる人も多くいます。しかし、心に届かなければ気休めにもなりません。むしろ、言葉ひとつでまた傷つけてしまう可能性があること、相手に信用してもらえない危険性が潜んでいる重い言葉だと知りました。どんなに想像を巡らせても、その人の人生を代わりに生きることはできません。こちらが良かれと思う正解は、必ずしも相手にとっても正解とは限りません。「大丈夫」という言葉は覚悟をもって使う言葉であることを痛感しています。

信頼関係を築くには、根気強い情緒的エネルギーが必要です。人を傷つけるのは人。でも人に傷つけられた傷は人でしか治せないものだと思います。何が正解なのか分からなくなったり、憂鬱になったり、投げ出したくなったり、弱い自分と向き合う苦しさもあります。そんななかで必死に紡いだ言葉が相手に伝わったと感じ取れたとき、魔法のように何か温かい気持ちが心に生まれる瞬間があります。私にとっては、それが福祉の仕事を続ける魅力であるように思えます。

私が仕事を続けていくうえで、学生生活でお世話になった先生方からいただいた言葉は、今の私をつくる大きな土台となっています。

人間福祉学科に関わってくださったすべての方々に感謝。長い間ありがとうございました。

東京家政学院大学・大学院　入試日程

2022年度　大学

入試種別	日程	出願期間 ※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜（学び体験型）	―	10月15日（金）～ 10月22日（金）	別に定められた出願前の面談日	11月 2日（火）	11月12日（金）
総合型選抜（課題型・活動報告型）	Ⅰ期	10月15日（金）～ 10月22日（金）		11月 2日（火）	11月12日（金）
	Ⅱ期	10月27日（水）～ 11月 5日（金）		11月16日（火）	11月26日（金）
	Ⅲ期	11月25日（木）～ 12月 3日（金）		12月15日（水）	12月24日（金）
	Ⅳ期	3月 2日（水）～ 3月10日（木）		3月16日（水）	3月25日（金）
学校推薦型選抜	Ⅰ期	11月 1日（月）～ 11月15日（月） 窓口受付:11月16日（火）※2	11月27日（土）	12月 1日（水）	12月10日（金）
	Ⅱ期	11月22日（月）～ 12月 7日（火） 窓口受付:12月 8日（水）※2	12月18日（土）	12月22日（水）	1月17日（月）
KVAスカラシップ選抜	―	11月15日（月）～ 12月 2日（木） 窓口受付:12月 3日（金）※2	12月11日（土）	12月14日（火）	12月24日（金）※4
一般選抜	A方式Ⅰ期	1月 4日（火）～ 1月11日（火） 窓口受付: 1月12日（水）※2	1月22日（土）	1月25日（火）	2月 3日（木）
	A方式Ⅱ期	1月 4日（火）～ 1月19日（水） 窓口受付: 1月20日（木）※2	2月 1日（火）	2月 3日（木）	2月15日（火）
	A方式Ⅲ期	1月 4日（火）～ 1月29日（土） 窓口受付: 1月31日（月）※2	2月10日（木）	2月15日（火）	2月25日（金）
	B方式	2月15日（火）～ 3月 3日（木） 窓口受付: 3月 4日（金）※2	3月10日（木）	3月14日（月）	3月24日（木）
大学入学共通テスト利用選抜	Ⅰ期	1月17日（月）～ 1月26日（水） 窓口受付: 1月27日（木）※2	大学入学共通テスト 1月15日（土） 1月16日（日）	2月 9日（水）	2月21日（月）
	Ⅱ期	1月17日（月）～ 3月 7日（月） 窓口受付: 3月 8日（火）※2		3月16日（水）	3月28日（月）
特別選抜試験（社会人・海外帰国子女）	Ⅰ期	11月 1日（月）～ 11月 9日（火） 窓口受付:11月10日（水）※2	11月20日（土）	11月24日（水）	12月 3日（金）
	Ⅱ期	2月 1日（火）～ 2月10日（木） 窓口受付: 2月14日（月）※2	2月25日（金）	3月 1日（火）	3月10日（木）
私費外国人留学生試験	Ⅰ期	10月12日（火）～ 10月20日（水） 窓口受付:上記期間中 ※3	11月20日（土）	11月24日（水）	12月 3日（金）
	Ⅱ期	1月17日（月）～ 1月26日（水） 窓口受付:上記期間中 ※3	2月25日（金）	3月 1日（火）	3月10日（木）
編入学試験・学士入学試験	Ⅰ期	11月 1日（月）～ 11月 9日（火） 窓口受付:11月10日（水）※2	11月20日（土）	11月24日（水）	12月 3日（金）
	Ⅱ期	2月 1日（火）～ 2月10日（木） 窓口受付: 2月14日（月）※2	2月25日（金）	3月 1日（火）	3月10日（木）

※1 出願期間は、郵送での受付期間（最終日の消印有効）を表します。
※2 窓口受付は、千代田三番町、町田の両キャンパスで行います。
※3 私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日および本学の入学試験日を除く）の千代田三番町、町田の両キャンパスで行います。
※4 一般選抜免除合格者の入学手続締切日は２月３日（木）となります。
2022年度入試については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、変更になる可能性があります。
変更になった場合は、随時本学ホームページでお知らせいたしますので、ご確認ください。

2021年度　大学院

入試種別	日程	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
一般選抜試験 社会人特別選抜試験 外国人留学生特別選抜試験	9月入学生	6月28日（月）～ 7月 5日（月）	7月10日（土）	7月14日（水）	7月22日（木）

※ 出願期間は、郵送での受付期間（最終日の消印有効）を表します。
※ 入学時期は2021年９月です。
2022年度入試については、2022年度大学院学生募集要項及び本学ホームページをご参照ください。

東京家政学院大学　オープンキャンパス2021開催日程

日程	備考
5月 9日（日）	オンラインオープンキャンパス
6月13日（日）	千代田三番町キャンパス／町田キャンパス
6月20日（日）	千代田三番町キャンパス 進学相談会として開催（ローズ祭同日開催）
6月27日（日）	オンラインオープンキャンパス
7月11日（日）	千代田三番町キャンパス／町田キャンパス
7月22日（木・祝）	オンラインオープンキャンパス
8月 9日（月・休）	千代田三番町キャンパス／町田キャンパス
8月21日（土）	町田キャンパス 総合型選抜（学び体験型）体験授業
8月22日（日）	千代田三番町キャンパス
9月20日（月・祝）	千代田三番町キャンパス／町田キャンパス
11月 3日（水・祝）	千代田三番町キャンパス
11月13日（土）	町田キャンパス 進学相談会として開催（KVA祭同日開催）
11月14日（日）	町田キャンパス ミニオープンキャンパスとして開催（KVA祭同日開催）

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）防止に関する本学の基本方針に基づき、オープンキャンパスの開催・日時・内容等を変更する可能性がございます。
最新情報は本学ホームページで随時お知らせいたしますので、ご確認ください。

〈 お問合せ先 〉
東京家政学院大学 町田キャンパス　アドミッションオフィス
〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地
TEL 042-782-9411
E-mail:nyushi@kasei-gakuin.ac.jp
URL https://www.kasei-gakuin.ac.jp/

東京家政学院高等学校・中学校
TOKYO KASEIGAKUIN SENIOR & JUNIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）

URL https://www.kasei-gakuin.ed.jp/

入学生の皆さんへ

校長　佐野　金吾

東京家政学院中学校・高等学校に入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎します。

中学・高校時代は心身ともに大きく成長する時期です。この大切な時間を、誰と、どのように過ごすか、これからの人生にとって非常に大切です。新入生の皆さんは様々な地域から入学し、それぞれの個性・特性を持っています。多様な方々と親しくする中で、皆さんは、自分の個性・特性をしっかりと考えることができるようになるでしょう。学校生活は様々な教科・科目の勉強とともに人々との交わりを通して自分自身を知ることが大切です。

幸い、本校で学びたい、学校生活を過ごしたいと思われる方々が皆さんの身近にいます。その方々と3年間、6年間の学校生活を過ごす中で生涯の友となる人もいるでしょう。できるだけ多くの方々と親しくなれるよう心がけてみましょう。親しい仲間とともに過ごす時間は、皆さんにとってかけがえのないものとなります。

さて、本校では、社会で自立できる女子教育に取り組んでいますが、そのために皆さん大切にしてほしいこととして、創設者大江スミは、K（知識）、V（徳性）、A（技術）をあげています。K（知識）は物事について考える上で欠かすことはできませんし、V（徳性）は人と人との関わりで大切です。また、A（技術）は知識を活用して物事を考えたり、判断したり、表現したりする時に必要です。

本校では、皆さんの学校生活にとって大切にしていることの一つに少人数体制があげられます。少人数体制の下の勉強では、皆さん一人一人の学習の状況に応じたきめ細かな指導が行われます。中学生の皆さんには高等学校の勉強に困らないように各教科の基礎・基本を懇切丁寧に指導し、高校生の皆さんには、それぞれの進路希望に応じることのできる多様な学習のコースプログラムを準備しています。

また、本校では、皆さんの心身の成長にとって大切な、生徒会活動やクラブ活動などの皆さんの主体的な活動の場も大事にしています。

少人数体制の学校生活では、「自分は、誰かのために役立っている。」と感じられる体験の機会が皆さん一人一人に必ず訪れます。

東京家政学院中学校・高等学校では皆さんの期待に応えられる学習活動と体験の場を整えていますが、心許せる友と一緒に喜びと感動ある学校生活となるよう皆さん一人一人の努力を期待しています。

在校生、教職員一同は、皆さんの学校生活が楽しく、充実したものとなるよう心より応援しています。

「常磐祭」実施の報告

第一部 体育祭

二学期の学校生活で、伝統的な行事である常磐祭第一部体育祭が、令和２年９月16日、17日に東京武道館においてコロナ禍の密状態を避けるため、各学年ごとに開催されました。今年はコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、皆様のご協力の下、無事開催することができ、感謝しております。

本校の体育祭は、第五六回を数え伝統ある行事であり、なんとか伝統が途絶えないよう開催する方向で進めてまいりました。本校の行事は、生徒自身が企画・運営するという特徴があります。体育祭では、各体育系クラブから選出された体育委員会が体育祭を企画・運営をします。委員会の生徒も悩みながら、コロナ禍の体育祭をどのように実施していくか限られた時間の中、話し合いを何回も重ね、実施可能な競技はどのようなものか、一つ一つ難問を解決しながら本番まで前進してきました。その結果、バトンは使用せず心のバトンを繋ぐ「ゾーンリレー」、お互い２ｍの布を持ちボールを載せてリレーする「フライングザボール」等ユニークな競技が生まれました。また、伝統的な踊りである中学３年生と２年生による「みのり」、高校３年生による「荒城の月」も無事踊り上げることができました。

来年はコロナが収束し通常開催ができることを祈りつつ、伝統ある体育祭をより活性化するようやっていきたいと思います。

第二部 文化祭

令和２年10月４日に東京家政学院中学・高等学校では常磐祭第二部・文化祭を実施しました。今年の常磐祭テーマは皆が穏やかで楽しい気持ちで過ごせるようにという思いを込めた「花宴」です。文化祭では学年ごとの展示やクラス単位での模擬店、中高各クラブの発表を行っています。例年は２日間実施している行事ですが、コロナ禍での実施ということから、本年度は１日での実施となりました。また、年度初めからのオンライン授業などで新入生が登校していないため、実行委員がなかなかそろわず準備の始動が遅れたり、夏休みや放課後に活動できる時間が例年よりも減ったりと文化祭に向けた生徒の活動には障害がありました。当日も来場者の制限をしたり、クラブ発表の方法が実演でなく事前に撮った動画であったりと、例年と異なる点が多くありましたが、天候にも恵まれ当日のトラブルも文化祭後の感染拡大もなく終えることができました。中止を余儀なくされた行事がある中で、感染対策に気を配って準備、当日と構内で実施できた経験は今後に活きる自信になりました。

2020年度 文化祭門

中学３年生 修学旅行代替プログラムについて

中学３年生は、当初は２０２１年３月４日からシンガポールへの修学旅行へ行く予定で準備を進めて参りましたが、今回の世界的なコロナ禍の下、現地での実施を見送り、12月と３月に合わせて４日間のＧＶＳ(Global Village for Students) プログラムをローズホールにて実施しました。ＧＶＳは、世界各国・地域から様々な文化的背景を持つ留学生たちとの英語コミュニケーションを通し、文化交流をすることです。生徒たちは３つのグループに分かれ、それぞれ留学生に日本の伝統行事や日本独自の遊びについて説明したり、校内を案内したり、一緒にグループフラッグを作成したりしながら相互理解を重ねました。最終日には１人ずつ自分の夢についてのスピーチを行いました。

ローズホールでの活動の様子

高等学校 卒業式

２０２０年度の東京家政学院高等学校の卒業式が、３月３日（水）に大江スミ記念ローズホールにおいて遂行され、３年生72名が無事卒業いたしました。

３年間遅刻欠席などのない皆勤者17名の代表として、皆勤賞を島田友梨奈さんが受賞しました。東京家政学院を代表する最も優秀な生徒に送られる大江賞は、生徒会長を務めた黒崎愛子さんに送られました。送辞は在校生を代表して、現生徒会長の２年生の吉弘美都稀さんが読み上げました。答辞は、ソングリーダー部の部長として活躍した添田真白さんが立派に務めました。

ご卒業おめでとうございます。新しい時代を切り開き、世界を牽引する女性として活躍することを願っています。

卒業式の様子

進路報告

2021年度入学合格先は、3月4日現在、次のとおりです。（五十音順）

学校名	人数	学校名	人数
大学			
東京家政学院大学	22	東京家政大学	1
跡見学園女子大学	2	東京女子体育大学	1
大妻女子大学	3	東京聖栄大学	1
桜美林大学	1	東京農業大学	1
学習院女子大学	1	東洋英和女学院大学	1
共立女子大学	3	東洋学園大学	1
国士舘大学	1	日本女子大学	4
駒沢女子大学	1	日本女子体育大学	2
相模女子大学	1	日本体育大学	1
実践女子大学	2	日本薬科大学	1
順天堂大学	1	法政大学	1
城西国際大学	3	明治学院大学	2
昭和女子大学	2	立正大学	1
女子栄養大学	1	短期大学	
女子美術大学	2	戸板女子短期大学	2
白百合女子大学	1	目白大学短期大学部	1
成蹊大学	1	専門学校	
聖心女子大学	1	首都医校	1
清泉女子大学	5	竹早教員保育士養成所	1
聖徳大学	3	日本工学院専門学校	1
洗足学園音楽大学	1	東関東馬事専門学院	1
帝京科学大学	4	以上	

2022年度入試（実施：2021年度） 校内説明会 予定

中学校

1	4月25日(日)	10:00	学校説明会(体験型)
2	6月 6日(日)	10:00	学校説明会(体験型)
3	7月25日(日)	10:00	学校説明会(体験型)
4	8月28日(土)	10:00	学校説明会(体験型)
5	9月23日(木祝)	10:00	学校説明会(体験型)
6	10月24日(日)	10:00	授業体験
7	11月13日(土)	14:00	過去問題解説説明会
8	11月19日(金)	16:00	Web適性検査型対策1
9	11月28日(日)	10:00	入試体験
10	12月12日(日)	10:00	5、6年生対象入試個別アドバイス
11	12月19日(日)	10:00	5年生以下対象クリスマスイベント
12	1月 9日(日)	10:00	入試直前アドバイス
13	1月15日(土)	10:30	適性検査型対策2 新タイプ入試勉強会1
14	1月23日(日)	10:00	入試直前個別アドバイス 新タイプ入試勉強会2
15	2月27日(日)	10:00	5年生以下対象学校説明会

高等学校

1	6月26日(土)	11:00	Web学校説明会
2	7月31日(土)	10:00	高大連携説明会
3	8月21日(土)	10:00	オープンスクール(体験型)
4	9月19日(日)	10:00	ばらフェスタ
5	10月30日(土)	11:00	授業見学会
6	11月 6日(土)	14:00	キャリア&進路指導説明会
7	12月 4日(土)	14:00	入試直前対策説明会
8	12月11日(土)	14:00	入試相談会

お問い合わせ先

東京家政学院高等学校・中学校 入試事務室
TEL 03-3262-2559（入試専用ダイヤル）
FAX 03-3262-2223
URL https://www.kasei-gakuin.ed.jp/

※説明会名称は変更する場合がございます。

2021年度 行事予定

1	6月21日(月)	13:00~15:30	合唱祭	練馬文化センター
2	9月15日(水)	10:00~15:00	体育祭(常磐祭第一部)	東京武道館
3	10月 2日(土)	10:00~15:00	文化祭(常磐祭第二部)	本校
4	10月 3日(日)	10:00~15:00	文化祭(常磐祭第二部)	本校

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
（代表電話番号）03-3262-2251

URL https://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

「好奇心」はより良く生きる力

学校法人東京家政学院
理事長 吉武 博通

今年も新たな学生・生徒の皆さんをお迎えすることができました。すでに在学・在校中の皆さんを含めて、東京家政学院で学べて良かったと心から感じてもらえるように、一人ひとりの成長を後押ししていきたいと思います。

大学・学校で学ぶことの意味を一言で述べることは難しいのですが、私は学生・生徒の皆さんに「好奇心」を育んでほしいと願っています。人生の中で直面する問題、仕事において取り組む課題、組織や社会が抱える問題など、どれも明らかな正解があるわけではありません。このような中でより良い解を見出すためには、一つの物事を一方向からだけ眺めて判断するのではなく、様々な角度から多面的にとらえて考えることのできる力が必要です。

また、一つの事柄を深く理解すると、次々に新たな疑問が湧いてきます。「もっと知りたい」という欲求は、知識を豊かにしてくれるだけでなく、自分を前向きにしてくれます。こうして人は生涯学び続け、自身を成長させていくことができるのです。

本学院の学生・生徒の持ち味はなんといっても素直さです。その素直さに旺盛な好奇心が加われば、どのような状況においても、周囲の人々と協力して、様々な問題を解決できるはずです。だからこそ、大学・学校で学ぶこの時期に、興味・関心の幅を大いに広げてほしいと思います。

大学生になれば学科ごとに専門の勉強を深めていかなければなりません。深い専門性はとても大切です。同じように、専門を超えた幅広い視野を養うこともまた大切なのです。日本を代表する理工系総合大学の東京工業大学でリベラルアーツを重視した教育改革が進められているのもこのような考え方に基づくものです。

教職員の皆さんにも、自身の専門分野や担当業務を超えた幅広い視野を養うように意識していただきたいと思います。そのことが自身の専門や担当を極めることに役立つだけでなく、教員同士、職員同士、教員・職員間の協働につながるのだと思います。

表題の「好奇心はより良く生きる力」には、そのような思いが込められています。

東京家政学院は、学生・生徒の皆さんにとって学びがいのある大学・学校であり、教職員の皆さんにとって働きがいのある職場であり続けなければなりません。そのことを私自身、深く心に刻みながら、学院の確かな未来を皆さんと一緒に描き、来る百周年を迎えたいと思っています。

東京家政学院 創立100周年記念募金 寄付者御芳名

東京家政学院創立 100 周年記念募金へのご協力に、厚く御礼申し上げます。ご寄付いただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここに御芳名をあげさせていただきます。[令和2年8月～令和3年1月分]

安達京子、石川直子、市川雅子、市村欣子、大久保晴雄、大野明彦、小倉あかり、
鏡久賀、風間みち、加藤清香、河村京子、後藤克彦、斉藤節子、澤田三和子、
茂原裕子、鈴木緑、関原暁子、十河由香、田中清章、田宮知子、鳥羽則子、
仲真司、中田三津子、中村美彌子、永山スミ、野田稔、樋口ルミ子、府中ひとみ、
古畑弥生、堀部みどり、松本英子、六鹿清美、森洋子、和久雄亮、湧田和枝

ほか匿名希望の寄付者 10名（敬称略・五十音順）
光塩会秋田支部

今、為すこととども

光塩会
会長　冨永　芳枝

桜花の訪れ、木々の緑溢れる季節を迎えた今、社会に、進学へと新たな門出の第一歩を踏み出される皆様へ光塩会一同、心からお喜びを申し上げます。昨春から続くコロナ禍で何かと不自由の多い昨今です。コロナに対して決して油断せず、各人が将来の目標実現に向かい大いに力を発揮し望みが叶うことを願っております。

「光塩会」とは、大学同窓会の名称で創立者大江スミ先生が聖書の一節「あなた方は地の塩である。あなた方は世の光である。」から命名されました。学生光塩会員と親睦をはかる大学行事のローズ祭、KVA祭に参加し協賛金を贈与、光塩会奨学金授与等、また、機関誌「光塩」「光塩会だより」を発行し会員相互の親睦に努めております。

令和5年に迎える創立100周年記念事業も「コロナ禍」で活動が頓挫しましたが、漸く遅れを取り戻した今、学校法人全体での記念誌編纂に光塩会も参加しております。また、光塩会有志の方が創立100周年記念事業に加わるべく全国の会員に呼びかけ、パッチワークでタペストリーの製作に取り組んでおります。

これまで任意団体の光塩会でしたが、将来を見据えて、組織運営・財務面においても健全性且つ永続性を持つ団体となるべく現在、「法人化」を目指しております。

そして、コロナの終息が見えない今日、私たち皆が為すべきことは、ソーシャルディスタンス、マスク、アルコール消毒等の基本を一人ひとりの心がけで行動することに尽きると思います。

新入生のみなさんへ

あづま会
会長　澤田　三和子

新入生の皆さん、
ご入学おめでとうございます。
ようこそ東京家政学院へ

あづま会は、東京家政学院高等学校の同窓会です。

今年は、辛丑（かのとうし）、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年、と言われています。

昨年は、コロナ禍により、緊急事態宣言も出て、いつもは皆さんと常磐祭（体育祭・文化祭）でお目にかかりますが、感染拡大が止まらず残念なことにあづま会は、参加することができませんでした。

ワクチン接種という、光も見えてきましたが、2回目の緊急事態宣言が出ました。

基本の手洗い、マスクをつけて、健康と共に気持ちよく、穏やかな毎日を過ごせるように願っています。

あづま会は、2年後に迎える創立100周年に向けて進められている記念誌と作品製作に参加しています。

一日も早く、皆さんとお目にかかれる日を楽しみにしています。

主な活動の紹介
- 総会・懇親会の開催
- 「あづまだより」の発行
- ホームページの配信
- 奨学金授与
- 校章ストラップ、あづリーヌのコンパクトミラー、タオルハンカチの販売
- 常磐祭の参加
- 成人を祝う会の後援

校章
ストラップ

「東京家政学院 創立100周年記念募金」をお願いしています。

お問合せ先
学校法人東京家政学院 募金事務局　〒102-8341 東京都千代田区三番町２２番地
電 話 03-3262-2242 ／ FAX 03-3262-2271 ／ E-mail bokin@kasei-gakuin.ac.jp

社会のなかで

「地域をもっと元気に！～街づくり支援担当として～」

東京家政学院大学 現代生活学部 現代家政学科 卒業
髙橋 知佳子

私は大学を卒業してから現在まで、地域密着型金融機関・西武信用金庫に勤務しています。入庫のきっかけは、大学1年時の特別講義で当時の業務推進企画部の髙橋部長（現・理事長）のお話を伺ったことです。金融機関というと、当時の私は預金や融資などの堅いイメージを持っていました。西武信用金庫では金融機関業務に加え、物産展等の独自のイベントを通して地域のお客さま支援を展開していると知り、この取り組みが大変魅力的に感じられたのです。

入庫当初は渋谷営業部に配属され、個人のお客さまを中心に、預金や融資だけに留まらない、課題解決に係る様々なご提案をしていました。入庫4年目に、転機が訪れました。希望していた、お客さま支援を展開する部署・事業支援部への異動の辞令をいただいたのです。営業店での経験が活かせる、願ってもないチャンスをいただきました。

異動して1年半が経った今、私は念願叶ってビジネスフェアの企画運営に携わっています。西武信用金庫と東京家政学院大学は包括連携を図っているため、このイベントを通し、お客さまと母校をお繋ぎする機会も多々あります。お客さまから大学との連携に関するご質問いただくと、とても張り切って対応してしまう自分がおります。実際にお引き合わせを実施し、お客さまがお喜びになる様子を見ると、担当としても卒業生としても大変嬉しく思います。

コロナ禍の昨今では、金融機関によるお客さまの本業支援や課題解決が重視されています。イベント企画においても、その時々のニーズに見合ったアイデアを打ち出していく必要があります。大学で学んだ「フィールドワーク（現場を見ること、知ること）」を振り返り、現場のお客さまのニーズを捉え、それにお応えしていくことが重要だと私は思います。「地域をもっと元気にするために自分に何ができるか」を模索しながら、よりよいお客さま支援のカタチを構築していきたいと思う今日この頃です。

2019年11月の第20回ビジネスフェアのシンポジウムにて司会を務めさせていただきました。恩師の上村協子教授にもパネリストとしてご出席賜りました。

プロフィール
2016年3月
現代生活学部現代家政学科 卒業
2016年4月～2019年5月
西武信用金庫渋谷営業部
個人アドバイザリー担当
2019年6月～現在
西武信用金庫事業支援部街づくり支援担当

研究室紹介62

東京家政学院大学

現代生活学部 生活デザイン学科 原口秀昭研究室

3年ゼミ生に不動産を教える

主に設計製図を担当してきましたが、このたび3年生もゼミに参加するということで、不動産を教えることにしました。原口は20代の設計事務所時代から不動産に関わり、現在も中古物件の再生と経営を行っています。15名の3年生が参加してくれましたが、当初はどこまで付いてくるか不安でした。

前期は自宅用、後期は収益用の物件を探し、それを路線価や利回りなどで評価します。収益用物件は、事前に原口が作成したエクセル表に数値を入れ、様々な指標を出します。ローン計算は前期ではスマホのアプリ、後期ではエクセルで自動計算します。もっぱら値の安い中古物件で、ポータルサイトなどから探してもらいます。

授業はすべてZOOMで、ユーチューブに基本を教える授業動画を入れ、契約書、重要事項説明書、登記簿、買い付け証明書は実物を手元カメラで映しながら説明します。毎回、検索した物件は一人ずつ画面共有で発表し、学生と原口が一緒に評価します。トレジャーハンティングの面白さもあり、15名の学生達は付いてきてくれています。

以前は中古物件のリフォームに、学生もバイトとして連れて行っていました。実物を相手にすることで、教室ではわからない構造、構法が手に取るように分かり、またボロが綺麗になるのを見られるので、学生達には好評でした。

空き家再生は大きな課題と言われますが、税金で再生しない以上、民間が経営として成り立たせないと実現しません。住居として安く貸すばかりでなく、福祉施設として再生できるように、建築基準法も改正されつつあります。この辺は今後の課題です。

中古戸建ビフォー（残置物多数 190万の戸建）

中古戸建アフター（学生バイトも多数参加）